

【次世代】施策の柱34

①予算事業名	久米島紬支援事業	予算科目	7-1-2-6	基本構想上の位置づけ 上段:「島づくり目標」 下段:「施策の柱」	次世代のための島づくり		
②担当部課名	商工観光課	事業実施(予定)年度	H30~H32	基本計画の該当箇所	伝統文化の継承と文化遺産の保護・活用 施策の柱34-3		
③事業内容	初心者を対象にした久米島紬従事者の後継者育成。 久米島紬技術習得のための基礎的技術(糸の準備~染色~緋くり~製織~きぬた打ち)を習得し反物1反を製作。引き続き、応用実習を受講し反物1反製作する。 ①後継者育成のための講師謝金 ②研修教材費(材料費) ③講演会・講習会(デザイン技術等)開催のための経費						
④実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input checked="" type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()						
⑤事業費 【単位:円】		28年度	29年度	30年度	31年度	32年度	
	財源内訳	(a)国庫					
		(b)県費					
		(c)地方債等	2,000,000	2,000,000	2,000,000	2,000,000	2,000,000
		(d)一般財源	1,092,000	1,092,000	1,092,000	1,092,000	1,092,000
		計(a~d)	3,092,000	3,092,000	3,092,000	3,092,000	3,092,000
特定財源名	(a)または(b)の名称	(c)の名称		過疎債ソフト			
⑥事業計画	年度	実施する具体的な事業の内容					
	平成30年度	①初心者向けの久米島紬技術習得のための基礎~応用実習の実施 ②講演会・講習会(デザイン技術等)の開催					
	平成31年度	①初心者向けの久米島紬技術習得のための基礎~応用実習の実施 ②講演会・講習会(デザイン技術等)の開催					
	平成32年度	①初心者向けの久米島紬技術習得のための基礎~応用実習の実施 ②講演会・講習会(デザイン技術等)の開催					
⑦成果目標(指標)及び進捗状況	成果目標(指標)		基準値(29年度)	30年度	31年度	32年度	目標値(37年度)
	受講者数	目標	(/)	(6)	(6)	(6)	(6)
		実績	3				
	組合加入者数	目標	(/)	(6)	(6)	(6)	(6)
		実績	3				
	事業成果効果等	・研修終了後、組合に加入し活動することで紬従事者減少の抑制に効果がある。 ・研修終了後は即戦力となって生産活動に取り組んでおり、生産反数の増加が図られている。					
⑧写真及び図面							